資料29

サービス等利用計画・障害児支援利用計画

利用者氏名（児童氏名）	北山　優子	障害程度区分	区分２	相談支援事業者名	Ｙ福祉センター
障害福祉サービス受給者証番号	０００００００１１	利用者負担上限額		計画作成担当者	羽田　綾子
地域相談支援受給者証番号		通所受給者証番号			

計画作成日	平成29年7月18日	モニタリング期間	当初3か月間は毎月（8月、9月、１０月）その後３ヶ月毎	利用者同意署名欄	

利用者及びその家族の生活に対する意向（希望する生活）		私は一人暮らしがしたい。両親は私のことを心配してくれるのは分かるけど、もう大人なんだし、出来る事もたくさんあるから自立したいの。そのためには、まずはグループホームで暮らして、もっと稼げる仕事をしたい。ＥＸＩＬＥのライブに行きたいなぁ。
総合的な援助の方針		優子さんの希望する生活に向かっていくために、優子さんの出来ることから提案していきます。収入が十分増えれば一人暮らしも可能と思われますが、まずはグループホームの生活に慣れて頂くよう支援致します。収入は、「一般就労」か「福祉就労＋年金」の方向性を模索します。
	長期目標	より多くの収入を得るためのスキルを身につけていく。
	短期目標	グループホームの生活に慣れる

優先順位	解決すべき課題（本人のニーズ）	支援目標	達成時期	福祉サービス等 種類・内容・量（頻度・時間）	福祉サービス等 提供事業者名（担当者名・電話）	課題解決のための本人の役割	評価時期	その他留意事項
1	親から離れて暮らしたい	グループホームでの生活を始める。	Ｈ２９年１０月	【共同生活援助】（当該月日数）	グループホームわさびの家（サビ管：浜さん）	・家事などで自分で出来そうな事はやってみる	H29年１０月	・出来る範囲で、家事を任せる機会を増やしてあげて下さい。 ・プライベートな時間を大切してあげてください。 ・利用料に関しては、しばらくは貯金を崩したり両親からの支援でまかなう。
2	料理のレパートリーを広げたい	週末は自分で料理を作る	Ｈ２９年１０月			・週末に自分で料理をしてみる。	H29年１０月	・可能であれば週末に優子さんが料理をした際に、一緒に食事をしてください。
1	ケーキを作る仕事がしたい	毎日通ってケーキを作る	達成 継続	【地域活動支援センター】（当該月日数−8日）	Ｙ福祉センター内地域活動支援センター（担当：高橋さん）	・健康に気を付けて、休まないようにする ・新しい商品を考えてみる	H29年１０月	・今後、就労移行支援事業への移行も想定されます。
1	福祉のことを相談出来る人が欲しい	緊急時や困った時は支援者に相談する。	Ｈ２９年１０月	【計画相談】	Ｙ福祉センター内相談支援事業所（担当：羽田）	・心配なことがあれば相談支援専門員に相談してみる。	H29年１０月	
3	ＥＸＩＬＥのライブに行きたい	ＥＸＩＬＥのライブに行く	Ｈ３０年７月	【移動支援】（１５時間／月）	Ｙ福祉センター内移動支援事業所（担当：西山さん）	・インターネットでライブの情報を調べる ・ファンクラブに入会する	Ｈ３０年７月	・ライブの日時、チケットの購入方法、当日までの準備、当日の移動ルートや方法など調べることが沢山あるので、どこまで支援が必要かを伺い整理しながら、一緒に考えて実現出来るようにして下さい。